

作詩 花咲かおる
作曲 江草 啓介

広重に恋して

都会を離れて 陣屋跡
ここはまるで 異空間
ライトに浮かぶ 浮世絵は
江戸の人情 優しさか
失くした物を 見つけたような
安らぎくれる 旅絵巻

わたしはいつしか 絵の中へ
手っ甲脚絆 旅姿
宿場を後に 渡し場へ
夢が叶えた ふたりづれ
絵筆を持った 広重さんの
横顔見つめ 舟の上

あなたが描いた 浮世絵の
時代を超えた メッセージ
生きてく術と 穏やかさ
胸の中まで 染みてくる
悲しい時や 苦しい時に
わたしはきつと 会いにくる